

実施状況報告

事業名	ふるさと祭り
実施主体名	伊予市立郡中小学校
日時	平成 29 年 11 月 19 日(日)
場所	伊予市立郡中小学校
参加者	児童、保護者、地域の方、郡中おやじの会

ふるさと祭り(日曜参観日)は、郡中小学校の恒例の学校行事で、1986年に始まりました。1985年まで行っていた収穫祭から、「ふるさと郡中を見つめ直し、伊予市についての理解を深めるとともに将来の発展を考えよう」という趣旨の行事に形を変え、毎年11月中旬の日曜日に開催されてきました。PTA主催のバザーもその当時から始まり、今年度もPTA役員や郡中おやじの会を中心に盛大に行われました。

ここ近年、「ふるさと祭り」の名を残しつつも、内容が学習の成果を発表するものになってきました。体育館で行われる全校集会では、金管バンドや合唱団の発表、低学年の学習発表劇、高学年の音楽発表(合奏)が行われ、保護者、地域の方にも楽しく見ていただきました。

集会後には、学年で準備してきた学習発表や催し物を行いました。3年生では、郡中の商店を紹介する「おいしいもの自慢」、4年年では、車椅子の乗車体験等を含む「バリアフリー」。どちらも総合的な学習の時間に学んだことを生かしての発表です。特別支援学級や5・6年生では、来校者に楽しんでもらえるように工夫を凝らし、空き缶積みや磁石で魚釣りなどの催し物を行いました。低学年は、保護者と共に各ブースを巡りながら楽しむことができました。

2000人以上の人々がここ郡中小学校に集う行事は「運動会」とこの「ふるさと祭り」だけです。そして、親子や家族のつながり、地域の方への感謝、学年での一体感等をより感じ取ることのできるのは「ふるさと祭り」ではないかと思います。伝統ある学校行事として、今後も大切に継続していきたいと考えています。



<全校集会>



<中学年の学習発表>